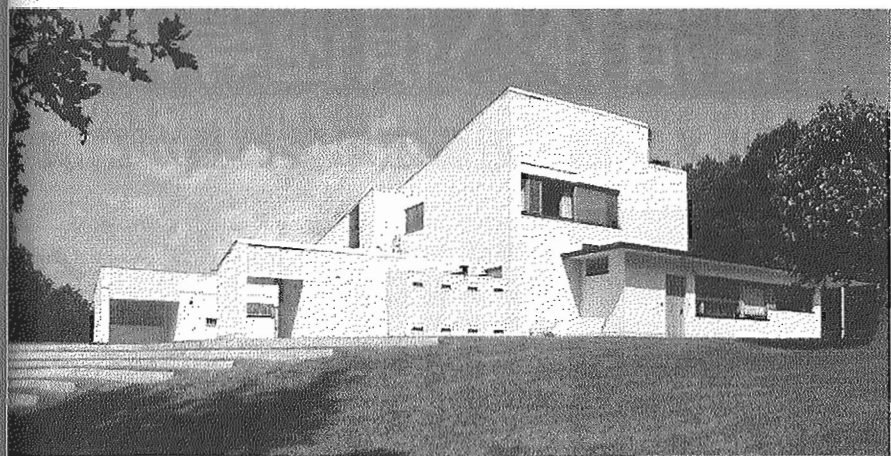


連載1回目



メゾン・カレ（写真＝ヤリ・イエツオネン）

20世紀は建築界においてモダニズムが潮流を形成した時代であった。その流れを比較的に素直にかつ巧みに受け入れたのは日本と北欧諸国、中でもフィンランドだったのではないかとと思われる。「シンプリシティの美学」を受け入れる素地がその歴史にあるのは、



鹿児島大学工学部建築学科助教授 安山 宣之氏

アルヴァー・アールト

優しき眼差しの建築家

的背景にあつたのでは無かるうか。
「アルヴァー・アールト（1898-1976）はフィンランドの一般的木材や煉瓦への

「シンプリシティの建築」

の愛着や曲面が生み出す佇まいは「有機的建築」と呼ばれ、又、合理的であると同時に叙情性を残す「優しき眼差し」の建築は「シンプリシティの建築」ともいわれている。建築家・ウェンチュリは

「アルヴァー・アールトの住宅」鹿児島展は、10月28日-11月10日までの14日間、鹿児島市立美術館で開催さ

鹿屋市で分譲マンション新築

丸栄建設で施工

大英産業

大英産業（大園信社長、本社・北九州市）は、鹿屋市に分譲マンション「サンパーク寿レジデンツ」新築を計画、施工を丸栄建設（株）に決め、8日、現地地鎮祭を行った。設計は、朝隈千徳建築工房一級建築士事務所が担当する。



杭打ちの儀を行う徳留会長＝鹿屋市の現地で

事故無災害と近所に迷惑をかけない工事をお願いします」と挨拶。続いて、徳留会長が「大隅半島で初めてのマンション建設を知恵と技術力を発揮して施工します」と決意を述べた。

同マンションの規模は、RC造5階建て、3129・73平方メートル。住戸数は29戸で、間取りは3LDK20戸と4LDK9戸。販売価格は1600万円から2200万円を予定している。販売開始は14年10月下旬、入居予定は

更なる躍進を誓う

鹿児島商工 創立120周年式典

鹿児島商工会議所 創立120周年記念式典



更なる躍進を誓い合った式典＝鹿児島市の県文化センターで

典及び記念講演会を開き、関係者約1000人が出席して創立120周年を祝うと共に更なる躍進を誓った。

式典前のオープニングセレモニーで同会議所120年の歩みを映像で振り返った後、大西会頭が「明治、大正、昭和、平成の4時代120年にわたり様々な変貌を経て、

地域経済の発展を図るため斬新な発想と果敢な行動力で活動を繰り広げて参りました。これからの新たな発展を創造するため企業家精神の一層の発揮に努め、新たな時代ニーズをとらえ、中小工業者を中心に産業経済発展の先導役を果たして参ります」と式辞を述べた。



維持修繕の対応など学んだ研修会＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

良従業員760人の表彰ではそれぞれの代表者に賞状と記念品が手渡された。最後に、玉利半三県中小企業団体中央会長の掛け声の下、万歳三唱で締めくくった。

また、式典後記念講演に移り、ジャーナリストの田原総一郎氏が「激動する世界と日本・時代をよむ」をテーマに講演を行った。

道路技術研修会

低騒音舗装等を解説

県舗装協会

県舗装協会（幸加木輝征会長）は8日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで14年度道路技術研修会を開き、会員ら約250人が出席、関心の高い課題や維持修繕への対応等について学んだ。

幸加木輝征会長が「本県の道路整備は全国水準に比べ遅れており、国や関係機関に要望している。道路整備等を取り巻く環境は厳しく道路関連予算の動向をみながら、時代に即応した舗装施工の新しい技術の習得や経営の近代化、合理化に取り組む人材育成や舗装施工技術の向上を図ることが最

も肝要だ。本日は舗装に関する諸問題の中から現在、一番関心の高い問題について講演することから真剣に聞いてほしい」と挨拶。

出利葉敦東亜道路工業（株）九州支社技術課長兼技術センター所長が「維持・修繕への対応」、石原徹県道路維持課技術補佐が「道路維持の現状と課題」などについて、それぞれ講演した。

この中で、菅原氏は低騒音舗装の分類と騒音低減メカニズムと技術などについて前置きし、施工方法、特徴などについて具体的に説明した。

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。

南日本家具工芸株式会社

婚礼家具、造作家具、増改築、ジュータン
カーテン、他、家具総合卸

TEL (099) 269-7111
FAX (099) 268-0385

鹿児島市東開町13-30